

- 問1 東北地方の太平洋側において、初夏から夏に吹く冷たく湿った北東の風による「冷害」を防ぐための農業上の工夫として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
1. 冬の期間に小麦を作る二毛作を推進する

2. 寒さに強い稲の品種改良を行う

3. ビニールハウスを用いた熱帯果実の栽培に転換する

4. 大規模なダムを建設し、常に高温の灌漑水を確保する
- 問2 日本の地方区分と位置関係について、東北地方の南端に位置する福島県と陸地で隣接している2つの地方の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
1. 中部地方と近畿地方

2. 関東地方と近畿地方

3. 関東地方と中部地方

4. 北海道地方と関東地方
- 問3 東北地方の中央部を南北に約500kmにわたって走り、日本で最も長い距離を持つ山脈の名称として正しいものを選んでください。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
1. 出羽山地

2. 北上高地

3. 奥羽山脈

4. 越後山脈
- 問4 東北地方の各県の場所について説明した次の記述のうち、宮城県の県庁所在地であり、東北地方最大の人口を抱える仙台市が位置する場所として最も適切なものはどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 東北地方の最北部に位置し、青函トンネルを通じて北海道と結ばれている地点

2. 東北地方の南西部に位置し、最上川の下流域に広がる庄内平野を持つ地点

3. 東北地方の中央東側の太平洋側に位置し、広瀬川が流れる仙台平野に面した地点

4. 東北地方の最南部に位置し、関東地方と隣接している地点
- 問5 本州の最北端に位置する青森県と、北海道との間を隔てている海峡は、日本海と太平洋を結ぶ重要な水域となっています。この海峡の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)
1. 宗谷海峡

2. 対馬海峡

3. 津軽海峡

4. 関門海峡
- 問6 東北地方に位置する宮城県と岩手県の産業や特徴について説明した文として、正しいものはどれですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
1. 宮城県は南部鉄器の生産が伝統的に盛んであり、岩手県は仙台平野を中心に「ひとめぼれ」などのブランド米の栽培が集中している。

2. 宮城県は県庁所在地の仙台市を中心に「ひとめぼれ」などの稲作が盛んであり、岩手県は南部鉄器などの伝統的工芸品で知られている。

3. 宮城県はリンゴの生産量が全国第1位であり、岩手県は県庁所在地の秋田市を中心に「あきたこまち」の生産が行われている。

4. 宮城県は東北地方の日本海側に位置して最上川の稲作が盛んであり、岩手県は日本地図で宮城県の南側に隣接している。
- 問7 日本の高速鉄道網である東北新幹線について、東北地方の南部に位置し、首都圏と東北の各都市を結ぶ交通の要所となっている県はどこですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
1. 長野県

2. 福島県

3. 岐阜県

4. 福井県
- 問8 日本列島の西側に位置する日本海において、南の低緯度側から北へ向かって秋田県沖などを流れる暖流の名称として正しいものを選択肢から選びなさい。 (2022年 香川県公立入試 類似)
1. 対馬海流

2. 千島海流（親潮）

3. リマン海流

4. 日本海流（黒潮）
- 問9 日本の都道府県別の統計において、漁業生産量と果実産出額の両方が全国上位五位以内に入っている、農林水産業が非常に盛んな県はどこですか。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
1. 福島県

2. 山形県

3. 青森県

4. 秋田県
- 問10 北海道、青森県、長野県、静岡県 の4道県の諸指標を比較した際、人口が約132万人で、就業者数における第1次産業の割合が13.2%と高く、漁業生産量が17万トンを超える実績を持つ県はどこですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
1. 青森県

2. 長野県

3. 北海道

4. 静岡県
- 問11 東京駅から東北新幹線に乗車し、関東地方から北上して東北地方に入った際、最初に通過する県はどこか。この県は東北地方の最も南に位置しており、交通網の整備に伴って工業が発展した特色を持つ。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 宮城県

2. 福島県

3. 山形県

4. 岩手県
- 問12 東北地方の岩手県から宮城県にかけての太平洋沿岸には、山地が沈降してできた複雑に入り組んだ海岸線が続いています。このような地形を利用してカキやワカメなどの養殖が盛んに行われていますが、この地形の名称として正しいものはどれか。 (2019年 広島県公立入試 類似)
1. 大陸棚

2. 三角洲

3. リアス海岸

4. 扇状地
- 問13 江戸時代に河村瑞賢によって整備された「西廻り航路」が、当時の東北地方の物流や社会に与えた影響についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 京都府公立入試 類似)
1. 最上川の下流から上流に向けて物資を運ぶ技術が向上したことで、内陸部の米を直接太平洋側の仙台へと運ぶ主要ルートとなった。

2. 太平洋側の沿岸部を航行し、房総半島を回って直接江戸へ物資を運ぶことが可能になったため、東北の内陸開発が進んだ。

3. 外国船との貿易を目的とした航路として整備され、酒田港は清やオランダとの取引を行う国際貿易港として発展した。

4. 日本海沿岸の米などの物資が、瀬戸内海を経て大阪へ大量に輸送されるようになり、酒田などの寄港地が繁栄した。
- 問14 東北地方の盛岡市付近の気候について述べた次の文のうち、適切なものはどれですか。なお、この地域の雨温図では、1月の平均気温が0度を下回り、8月の気温は25度近くまで上昇します。また、降水量は7月から9月にかけて月間200mmを超えるものの、冬の降水量は少ないという特徴があります。 (2025年 茨城県公立入試 類似)
1. 梅雨や台風の影響をほとんど受けないため、年間降水量が1000mmを下回るほど極めて乾燥している。

2. 山地や山脈に囲まれているため、季節風の影響を直接受けにくく、夏と冬の気温差が大きい内陸性気候である。

3. 冬の北西の季節風が奥羽山脈にぶつかるため、12月から2月にかけて雪による降水量が非常に多い日本海側の気候である。

4. 対馬海流（暖流）の影響を強く受けるため、冬でも比較的温暖であり、年間を通して降水量が一定である。